

発行所(郵便番号100)
東京都千代田区丸の内2-4-1
丸の内ビルディング617号室
社団法人スウェーデン社会研究所
Tel (3212) 4007・1480
Fax (3212) 1447
編集責任者 岡 沢 憲 美
印刷所 関東図書株式会社
定価200円(年間購読料参千円)
1991年9月25日発行
第23巻 第9号
(毎月1回25日発行)
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 23 No.9

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)
Marunouchi-Bldg., No.617, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan.

スウェーデンとわが国の租税負担感

Comparison of tax burden between Japan and Sweden

理事 慶応義塾大学教授 飯野 靖 四
Prof. Yasushi Iino

或る国において一年間に生産された財貨・サービスの総額を国内総生産(GDP)というが、その中において「強制的に」徴収された租税・社会保険料の占める割合を租税負担率と呼んでいる。租税負担率は例えば1989年にはアメリカが31.8%、日本が34.8%、イギリスが39.7%、フランスが46.5%、スウェーデンが64.1%となっており、わが国の租税負担率はスウェーデンのその半分強となっている。

このような数字からスウェーデンの租税負担はわが国の倍近く重いと結論されがちであるが、実際の負担感はそれほど重いわけではない。

その理由の第一は、スウェーデンでは税収に占める間接税収入の割合が大きく(24%、わが国は13%)、租税負担の重さとしてよりは物価高としての負担感の方が大きいということがあげられる。

第二の理由は、スウェーデンでは社会保険料(税収全体の29%を占める)は原則として全額雇主(企業)負担となっており、労働者には負担感が乏しいということがあげられる。しかしスウェーデンの場合には特に明白にその負担は労働者に転嫁されており、かなりの労働者はそれを意識している。

第三の理由は、スウェーデンの所得税負担は実際重いのであるが、いく分誇張され過ぎているところがある。スウェーデンの所得税は1991年の税制改革以降31%と51%の2つの税率だけとなったが、人的控除は基礎控除、通勤費控除等ほんの少ししか認められていないために、低所得者を含めてほとんどの人に31%の税率で税金がかかる大衆重課税となっている。しかし低所得者にはさまざまな手当が国から支払われるので、彼らの実質的な租税負担はマイナスとなることが多い。

他方わが国では国からの手当はそれほど多くないが、税制上給与所得控除、基礎控除、配偶者控除、扶養控除、障害者控除、老年者控除、医療費控除等さまざまな控除が設けられており、実効税率はきわめて低いものとなっている。

結論としてスウェーデンの実際の租税負担は、国からの諸手当を「マイナスの租税」として加味したもので測られなければならない。他方わが国の社会保障支出は、税制上設けられた諸控除による減税分を加味したもので測られなければならない。

会長松前重義氏のご逝去を悼む

当スウェーデン社会研究所会長並びに社団法人日瑞基金顧問であられた東海大学総長松前重義氏には、凶らずも去る8月25日に急逝されました。

松前重義会長には、スウェーデンがかつてありし武力本位の国から脱却して、長年の間平和に貫徹し、貪ぼる者なく貧しき者のない社会を実現したことに着目し、その思想と文化、政治、経済構造や国民生活等を研究することが、わが国の将来のための必要な課題と考えられ、当研究所ならびに日瑞基金の設立に積極的に取り組まれ、会長ならびに顧問への就任を快諾されました。

以後20年余に亘り、その事業の運営に多大の配慮を払われ、おかげをもって両機関が内外からの評価の高揚を果したのでありまして、更に今後の事業の発展のため一層のご指導ご鞭撻を期待しておりましたこの際、突然のご訃報に接し、関係者一同驚愕且つ落胆の極みに存じ上げた次第でございます。

ここに、永年に亘る多大のご厚情とご尽力に対し厚く御礼申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます次第でございます。

スウェーデン国よりの授賞（松前重義会長）

昭和58年 北極星勲章一等コマンドー章

東海大学図書館へ寄贈された小野寺蔵書

M. Onodera's books, be presented to
Tokai University Library

故小野寺信の蔵書がこの度東海大学附属図書館へ寄贈された。これは当研究所評議員の東海大学教養学部教授永山泰彦氏の斡旋によるものである。図書館に本がはいった意義はまことに大きく、全国の大学（短大を含む）図書館をつなぐコンピューターにインプットされ、全国の大学で利用されるということになるそうである。本にとってこの上なく有がたいことで、地下の小野寺がどんなに満足していることかと思う。

小野寺信は大東亜戦争中5年間をストックホルムで、駐スウェーデン陸軍武官として勤務した。戦後は小さな商用でスウェーデンへは10回余りも行ったが、渡航の度毎に本（主にスウェーデン語）を買求めてきては楽しんで読んでいた。小野寺が戦後主眼としていた研究テーマは国家安全保障の在り方であった

から、軍事と安全保障関係の本も多かったが、大部分は文学を除くあらゆる分野にわたるものである。彼は、スウェーデンの社会全般を勉強しようと心がけ、買求めた本も、経済、労働、社会保障、エネルギー、インダストリー、教育、外交、政治、歴史、税制、財政と多種多様である。その他に予約購読していた時事評論雑誌、Svenska Tidenskrift（1975～86）とTiden（1975～86）も揃っている。

小野寺死亡の後、蔵書の中の特別の専門書は当研究所の先生方に形見として差し上げ、社会保障関係のものは社会保障研究所図書室へ一部寄贈した。そして雑誌を含め約300冊をこの度東海大学附属図書館が引き取って下さったのである。（小野寺百合子）

スウェーデンで博士号を取得して

My memory of taking the degree of doctor in Sweden

東京大学第二外科 窪田 敬一

Dr. Keiichi Kubota

六月四日朝からスウェーデンでは珍しいどしゃぶりの雨が降っていた。またかと半ば諦めに似た気持ちで宿舎にしているヴェネグレンセンターを出た。いつの頃からかすっかり雨男が定着してしまい、何か大事なことがある日には必ず雨が降ることになっている。今日は私にとってスウェーデン留学の総決算とも言える博士号取得のための最後の口頭試問の日だ。三年前、日瑞基金より奨学金をもらい初めてカロリンスカ研究所附属のフディング病院移植外科のグロート教授のもとに来た時にはまさかこの日が来るとは想像だにもしなかった。右も左も解らず遅れを取るまいと他のスウェーデン人医師の後ろをただ追いかけ回すだけで精一杯であった。留学して三ヶ月後にやっと、研究課題を見つけた。その頃、スウェーデンの博士号が日本のそれとは違い、より権威があるもので、同一テーマに関する論文が少なくとも五つ必要なことを知った。

病理のレインホルト助教授のもとに日参し、細胞診のテクニックを学んだ。スウェーデン人の同僚の医師から典型的日本人であると半ば呆れられながらも留学中の二年間にどうにか11の論文を書き上げることができた。その後一旦帰国したが、試験準備のため再びスウェーデンを訪れこの日を迎えることになった。

雨の中のハイウェーを飛ばすこと20分。巨大な病院そのものが街とも言えるフディング病院に到着した。病院の正面玄関前には青と黄色のスウェーデン国旗が雨に濡れながらはためいていた。博士号の試験のある日には国旗を掲揚すること。思わず胸が一杯となる。定刻の9時になり、試験の行われる講堂にぼつぼつと人が集まり始めた。試験はそのテーマについてのオーソリティーとスウェーデン国内の5人の教授により口頭試問が行われる。沢山の聴衆の前で行われるので緊張してしまう。いつも奇抜な服装で有名なレインホルト助教授も今回は私の指導者ということで地味な背広姿で神妙な顔をしている。

親友のエリクソン医師は私に向かって片目をつぶってみせた。彼には臨床の面では肝移植に参加する機会を与えてもらい、また、オランダで実験をともにした仲でもある。最初の質問はフィンランドよりこの日のために特別に招待されたフォンウィルブランド教授によって行われた。金髪、青い目の典型的北欧美人だが今日はそれを楽しく鑑賞する余裕はない。私の6つの論文をまとめた本の一頁ずつに針の穴をつつくような質問が続いた。予想していたような質問ばかりなのでどうにか落ち着きを取り戻した。質問を無難にこなし、最後にこの日のために日本から駆けつけて下さった東大第二外科出月教授のコメントを頂いた時は既に昼過ぎになっていた。一時間後、選考委員会から合格の連絡を貰った。

喜びもそこそこに夕方からのパーティーの準備へと急いだ。こちらでは博士号を取得したら世話になった人々を招待するのが習慣なのだ。パーティーは日本での結婚披露宴ながらに行われる。全員男性は燕尾服、女性はロングドレスを着用しなければならない。隣席に座る女性をそれぞれエスコートして会場に入場するのは日本男子には少々気恥ずかしい。日本人はスピーチ好きと言われるが、スウェーデン人も負けてはいない。ご馳走を前にして、スピーチは延々と続いた。食事の後はダンス。ダンス好きのスウェーデン人は翌日のことなど考えずに踊り明かす。私も日本で3ヵ月間付け焼き刃にダンスの特訓を受けたのでどうにかパートナーの足を踏まずにすんだ。

招待客をすべて送りだして宿舎に着いたのは夜中の1時近かった。多少興奮気味だったので疲れはさほど感じなかったが、翌日スウェーデンを離れるとことになっていたので招待客がくれたプレゼントの整理をしなくてはならなかった。包を開けてびっくり。皆スウェーデン特産のガラスでどれも重量級のものばかりであった。こうして記念すべき日は終わり私達はスウェーデン人の友情と善意を腕の重みに感じながら機上の人となった。

『スウェーデン人はいま幸せか』

(訓覇法子著 NHKブックス 621) を読んで

伊藤裕子

ここに挙げられたテーマはちょっとドキリとする問かけです。

こういう質問を「日本人」と置換え自分達の問題として提示された時にどういった答が返ってくるでしょうか。少なくともある国の人々が幸せだと言えるためには何が必要でしょうか。いったい何を基準に幸せを考えたら良いでしょうか。

私たちは誰でも幸せになりたいと思っています。そして、一般に幸せは、個人の努力や忍耐あるいは幸運によって掴むことができると考えられてきました。

しかし、現代の急速に変化する社会にあっては、幸せになるためには個人の努力とといったものだけを当てには出来なくなってしまっています。実現に余りにも多くの困難が待ち受けているのです。

そのために、私たちの暮らしている社会環境と個人の幸せを別の問題として切り離しては考えられなくなりました。そうした意味でこの著者のテーマに現れた視点はなかなか面白いと同時に、非常にスウェーデン的な発想の題名ではないかと思えます。

ご存じのように、スウェーデンでは個人と社会の連帯を基盤とする社会福祉システムを特徴としています。ですから、「スウェーデン人」という問かけは、まさしく人々の連帯を実感として現していると言って良いでしょう。

著者は15年という長いスウェーデン滞在経験を基にして、等身大のスウェーデンの人々の生活に近づこうとしています。一般に言われているような表面的なイメージから一步踏み込んだ実像を探

っていきます。

まず、著者は具体的に「いま幸せ」であるかどうかを検証するために、この社会の精神的な基盤となっている国民性を自分の体験も交えながら述べ、そのに続いて国民性に旨く合わせて作りだされた社会福祉の考え方や組織や制度について歴史的な経過を辿りながらその特徴を的確に分析し、説明をしていきます。

こうして、福祉制度の成り立ちとこれを支えている思想的な背景を判りやすく理解することが出来ます。その上で、良くも悪くも常に様々な方面から興味と関心をもって採り上げられるスウェーデンの「神話」的部分を11の項目に分けて、その現実の状況が率直に語られていきます。

最後にまとめとして、この国の神話的要素として説明されてきた制度の影の部分に触れながら「いま」から未来に向けての新しい変化と問題点をかい摘まんで述べています。

本書で解説されている何れの制度においても、その基本には他人に無視されたり干渉されたりすることも無く自立した生活ができ、何時でも社会参加出来るような、個々人の体と好みにあった洋服のような行動しやすい多様性が追求されてきたということ、そして、こうした人間らしい生活をおくりやすくするための理念の遂行のために、人々が常に努力を怠らなかつたという感動にも似た事実が展開されています。また、今後もスウェーデンの人々が「いまの幸せ」を支えていくための努力を絶やすことは無いだろうという著者の確信を感じることが出来ます。

〈SIPニュース〉

政府声明で再検討されたスウェーデンの貿易政策

最近発表されたスウェーデンの貿易政策骨子次の通り。

「来年度のスウェーデンの貿易政策は次の二つの問題に焦点が当てられることとなる。一つは必ず良好な結果を導出する必要があるウルグアイラウンドで、スウェーデンはこの目的のために積極的に作業を続けていく意思がある。また、我国の貿易政策のもう一つの関心事はヨーロッパにおけるスウェーデンの位置である。

スウェーデンは貿易に依存している国であるので、その貿易政策は世界のあらゆる地域との関係を促進するものでなければならず、ウルグアイラウンドが極めて重要なのはこのためである。強力なガット(関税貿易一般協定)が存在しなければ、弱小諸国がその貿易政策上の利益を維持することはむずかしくなるであろう。

ガット規定の強化及び拡張は、ヨーロッパ内外で排他的かつ内向的になってきている自由化の地域のプロセスを防止するためにも重要である。スウェーデンが切に望んでいるのはガット交渉の最終決議が現行年度以内に承認・調印されることである。

第三世界の国々の発展にとって最重要な前提条件の一つに、工業諸国及び発展途上国の両方で、輸出品を販売するための適正な機会を得て、世界貿易に効果的に参加することがあげられる。スウェーデンはその市場開放によって、この目的に寄与する努力をしているが、その一つの例が7月31日付で実行されるスウェーデンの繊維衣料の輸入制限の解除である——同日付で、15ヵ国と結ばれている拘束性の二国間MF A協約が満了する。

ヨーロッパの構造は今や急速に変わりつつある。我々は今日、1年半前とは全く異なる環境の中で生きている。結果として、スウェーデンのEC加盟の為の情勢も変わった。我国にとってヨーロッパ統合への参加問題は戦後における最重要の政治的決定事項の一つであるが、スウェーデンの行った行動のための指針と目的については、国会内で極めて幅広い合意が得られており、政府は既に、1991年度に提出される予定の申請書の準備を開始した。

ただし、現行の最優先事項はヨーロッパ経済エリア (the EEA) の設立に関するEFTA諸国とEC諸国間の交渉妥結である。EEA合意とEC加盟のための申請との間に矛盾はなく、長期的観点から見て、EEAへの合意はEC加盟達成のためのプロセスにおけるワンステップとしてみなすことができる。

ヨーロッパはスウェーデンの対外貿易にとっての巨大な「国内市場」とみなすことが可能であるが、我国は他の市場への輸出努力を強化する必要がある。それらの市場の中には、我国の総輸出の9%の行先である米国、着実にスウェーデンの輸出における占有率を増している日本、このところ経済活動が活発な東南アジア等が含まれる。

また、アフリカ南部地域も大きな変化が起こりつつある。南アは未だ、変化が広範かつ戻らないものとして特徴づけられる段階には達していないものの、スウェーデンが南アの経済制裁を再考せねばならない時期が近づきつつある。

(SIP 151/91)

政府の物価安定一括法案で提案された食品の付加価値税の減税

コスト増の抑制によって物価を安定させ、購買力を保証することを目的とした一括法案をスウェーデン政府が提出した。

同法案には本年度末に、付加価値税を一時的に25%に引き上げる旨の法令が満了するので、その際に食品やレストランの食事の付加価値税を7%を引き下げる法案が含まれている。なお、他の製品及びサービスの付加価値税は25%の水準にとどまる見込みである。また、この減税によって消費者が利益を得られることを保証するために、物価の監視が厳しくなるといわれる。

農業政策においても、食品の物価を抑える同措置にひきつづき、本年度10%、来年度はそれ以上、保護輸入税を引き下げることが計画されている。既に履行されている措置は消費者レベルの食品価格を3-5%引き下げるものと見込まれている。

政府によれば、緊縮財政政策はインフレ圧力を減じる点では成功を修めてきており、賃金稼得者全体の約80%を含む労働市場で先頃合意に達した賃金安定化協定は一般物価を下降させつつあるという。1991年初めよりスウェーデンクローナがエキュー (the European Currency Unit) にペッグした5月17日まで、短期的利子率、長期的利子率はそれぞれ2.1%、1.5%の減少を示し、ひきつづき下降を示している。本年度5月から12月までに、物価上昇は2.5%にとどまるものと見られ、来年度も通年で3%弱の上昇となろうと見込まれている。

(SIP 178/91)

迫害を受けている女性を救済する新しい市民登録法

スウェーデン政府の提案によると、暴力や迫害によって脅かされたり、被害を加えられるおそれのある人々——主として女性——は、1991年度7月1日付で実効となる新しい市民登録法によって保護を受けられるようになる。

同日より税務関係の機関の管轄となる市民登録は現行の手続きに比べ簡単で、居住地及び結婚状態に関する最新の登録を継続的に包含するものである。登録情報は多数の官庁に自動的に転送されるが、現行の情報漏洩防止法では情報悪用に関する十分な保護は期待できないということである。

そのため、目下、迫害を受けるのを避けるべく、新しい住所に引っ越した時点で、被害を受けている

彼もしくは彼女の古い住所をそのままにしておくことができるようにすることが提案されている。この場合、郵便物はまず、税務関係の官庁に配達された後、被害を被っている人の実際の住所に転送される。迫害の程度がはなはだしい場合、被害を受けている人はその脅威が存続する限り、虚偽のデータを登録することができる。なお、この種の保護措置の適用は警視庁に送られることとなる。(SIP 105/91)

スウェーデン、第三世界の環境保護を援助

外務省の発表によると、スウェーデンは発展途上国の環境保護計画に、さらに800万クローナ（2億800万円）を供与することを決定したという。これは様々な国連の機関に与えられるこの種の目的のための包括的援助と第三世界へのスウェーデンの二国間援助への付加である。

新しい援助金の主要項目別内訳は次の通り：発展途上国にオゾン層を破壊する物質を使うのを止めさせる計画のために460万クローナ（1億1,960万円）、特別な世界保険機構プログラムのわく組内で、環境要因によってひきおこされる健康への害を予防するために350万クローナ（9,100万円）気象や生物的多様性に関する国際的話し合いへの発展途上国の参加促進のための70万クローナ（1,820万円）。

(SIP 108/91)

南極研究プロジェクトでテストされる新しい上水・下水技術

スウェーデン建築研究委員会の発表によると、1991年12月から1992年2月にかけて Heimfrontflytt があるスウェーデンの南極研究基地ヴァーサにおいて、特殊な気象状況下における水供給と汚水処理技術を研究するための計画が実行される。同委員会はコールドテクファンデーション (the Col-dteck Foundation) と共に、同プロジェクトに財源を調達する予定である。

2年前に建設されたスウェーデンの南極基地は海水の凍結した氷の端からおよそ140kmの位置にあり、技術装置及び設備を装備した建物とスタッフ10~12人の寝起きする住宅とから成る。住宅はお湯と水が使える他、洗たく機、皿洗い器、シャワールーム、乾燥式洗面所等を装備している。

水が供給不足のため、上水及び下水システムに不可欠な条件が節水である。ここでの水消費は1日1人当り38リットルで、スウェーデン本国での平均使用量は200リットル、廃水の総排水量は基地に人がいる時で、週あたり15~20立方メートルと算定されている。南極プロジェクトで得られた経験は世界中の上水利用を改善する努力にとって興味深いものとなることを見込まれている。

同研究プログラムはルーレオ工科大学の水衛生技術学部によって、3段階に分けて実施される見込みである。第1段階は特殊な気象状況に適するシャワー、皿洗い器、洗たく機等の排水浄化のための現行技術の開発に関するものであり、各種のろ過プロセスが「バイオベッド」(bio-bed) 技術と殺菌とを組合わせてテストされる。

第2段階では、太陽エネルギーを用いる排水の気化技術がテストされる予定であるが、これは将来の排水を出さない処理技術のためのデータを提供するよう意図されている。なお、第3段階は従来装置がテストに耐えられなかった雪や氷といった本来の形とは違った状況になりやすい基礎での管の敷設のための三種の技術に関する全面的なテストを含むものである。

(SIP 145/91)

目次

スウェーデンとわが国の租税負担感	
飯野 靖 四	1
松前重義会長ご逝去を悼む	2
東海大学図書館へ寄贈された小野寺蔵書	2
(寄稿) スウェーデンで博士号を取得して	
窪田 敬 一	3
(書評) 「スウェーデン人はいま幸せか」	
を読んで 伊藤 裕 子	4
SIP ニュース	4